

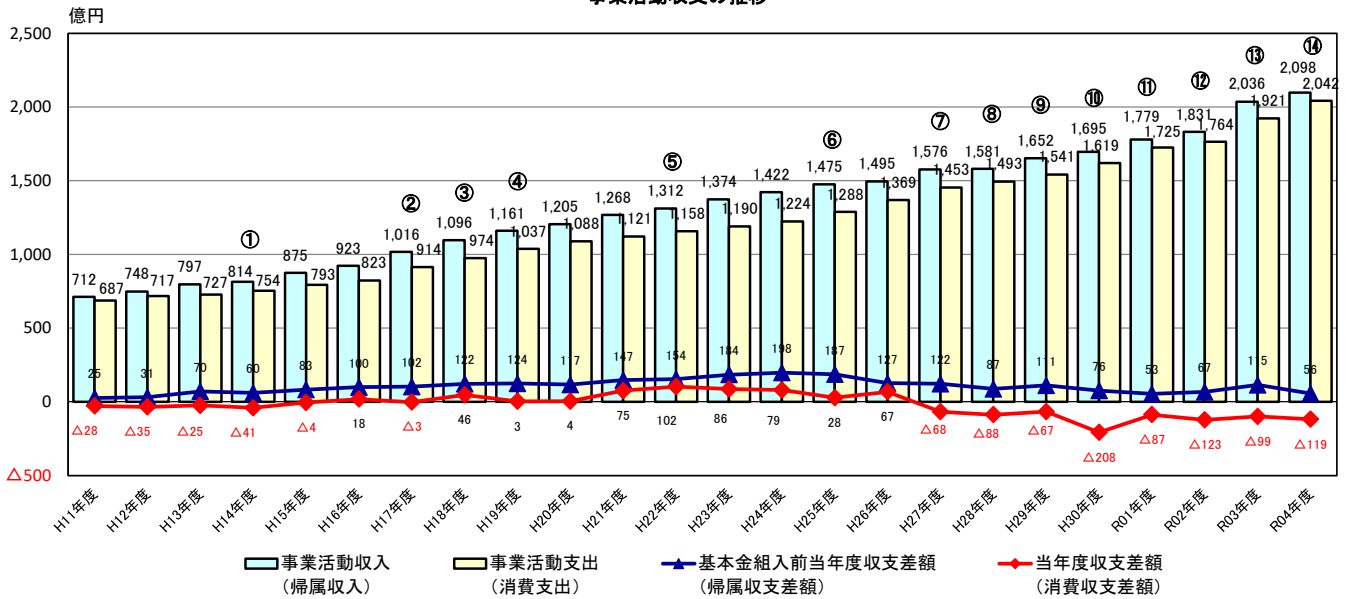
主な財務比率

1. 事業活動収支計算書			単位(百万円)	事業活動収支計算書関係比率			単位(%)					
科目		R04決算	財務比率	算出方法	R04決算	2. 貸借対照表		単位(百万円)	貸借対照表関係比率	単位(%)		
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	11,714	人件費比率	人件費	34.6%	資産の部	科目	R04決算	財務比率	算出方法	R04決算	
	手数料	575		経常収入			固定資産	248,171				固定資産構成比率
	寄付金	1,503	人件費依存率	人件費	616.9%	有形固定資産	224,584	有形固定資産構成比率	有形固定資産	総資産	62.8%	
	経常費等補助金	13,995		学生生徒等納付金		土地	59,822		特定資産構成比率			特定資産
	付随事業収入	7,010	教研経費比率	教育研究経費	59.8%	建物	120,372	特定資産構成比率	特定資産	総資産	3.8%	
	医療収入	170,637		経常収入		その他の有形固定資産	44,390		流動資産構成比率			流動資産
	雑収入	3,537	管理経費比率	管理経費	3.1%	特定資産	13,643	流動資産構成比率	流動資産	総資産	30.6%	
	教育活動収入計	208,971		経常収入		その他の固定資産	9,943		流動負債構成比率			流動負債
	事業活動支出の部	人件費	72,266	借入金等利息比率	借入金等利息	0.0%	流動負債	109,493	固定負債構成比率	固定負債	総負債+純資産	13.1%
		教育研究経費	125,127		経常収入		現金・預金	71,665		流動負債構成比率		
管理経費		6,541	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	2.7%	その他の流動資産	37,828	流動負債構成比率	流動負債	総負債+純資産	7.3%	
(減価償却額)		16,358		事業活動収入		資産の部合計	357,664		純資産構成比率			純資産
徴収不能額等		129	基本金組入後収支比率	事業活動支出	106.2%	負債の部	科目	R04決算	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額	総負債+純資産	-34.3%
教育活動支出計		204,063		事業活動収入-基本金組入額		固定負債	46,976	長期借入金		12,000		
教育活動収支差額		4,909	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	5.6%	学校債	3,800	固定長期適合率	固定資産	純資産+固定負債	74.8%	
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	126		寄付金比率		寄付金	0.8%		その他の固定負債			31,176
	その他の教育活動外収入	4	補助金比率	補助金	6.9%	流動負債	26,069	総負債比率	総負債	総資産	20.4%	
	教育活動外収入計	130		事業活動収入		基本金組入率	基本金組入額		8.3%			短期借入金
	教育活動外支出の部	借入金等利息	11	基本金組入率	事業活動収入	8.3%	短期学校債	670	基本金比率	基本金	基本金要組入額	98.7%
その他の教育活動外支出		0	減価償却額比率		減価償却額		8.0%	その他の流動負債		25,399		
教育活動外支出計		11	減価償却額比率	経常支出	8.0%	負債の部合計	73,046	純資産の部	科目	R04決算		
教育活動外収支差額		118		経常収支差額		経常収支差額	2.4%		基本金	407,227	第1号基本金	392,313
特別収支	資産売却差額	0	経常収支差額比率	経常収入	2.4%	第2号基本金	483	第3号基本金	0			
	その他の特別収入	668		教育活動収支差額比率		教育活動収支差額	2.3%	第4号基本金	14,431	繰越収支差額	-122,609	
	特別収入計	668	教育活動収支差額比率	教育活動収入計	2.3%	翌年度繰越収支差額		-122,609	純資産の部合計	284,618		
	資産処分差額	39		特別収支差額		特別支出計	80	負債及び純資産の部合計	357,664			
	その他の特別支出	41	基本金組入前当年度収支差額		5,615							
	特別支出計	80	基本金組入額合計	-17,501								
	特別収支差額	588	当年度収支差額	-11,886								
	基本金組入前当年度収支差額	5,615	前年度繰越収支差額	-110,723								
	基本金組入額合計	-17,501	基本金取崩額	0								
	当年度収支差額	-11,886	翌年度繰越収支差額	-122,609								
前年度繰越収支差額	-110,723											
基本金取崩額	0											
翌年度繰越収支差額	-122,609											

※ 金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

25. 財務状況の推移

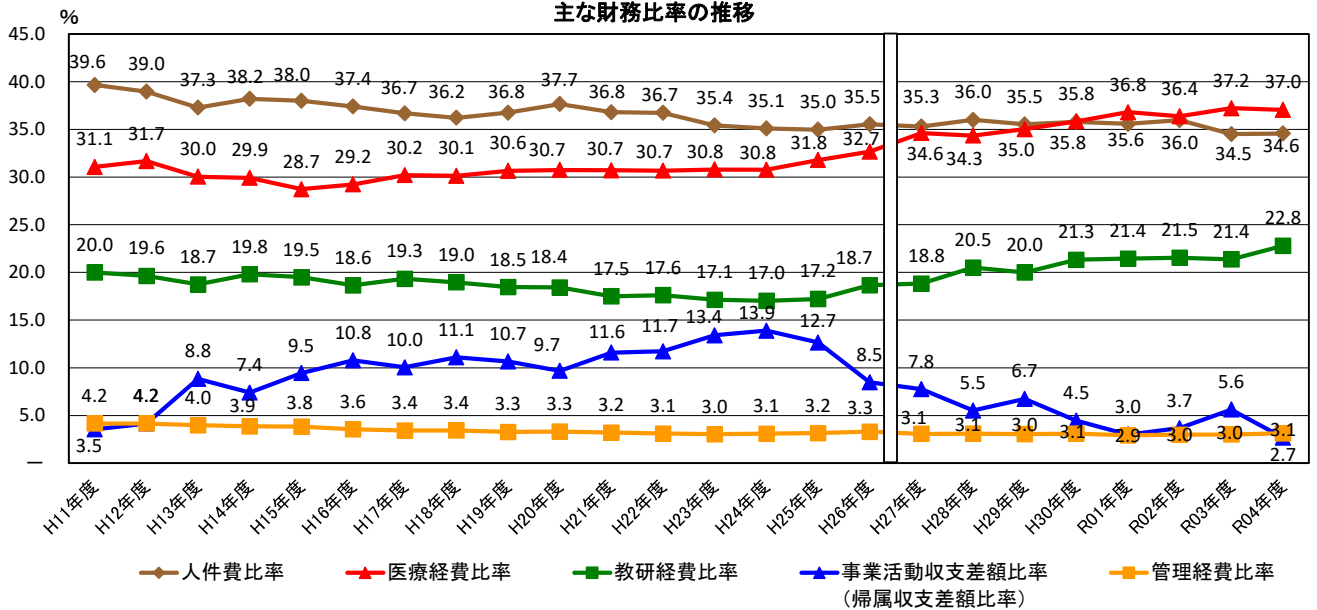
事業活動収支の推移



教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。

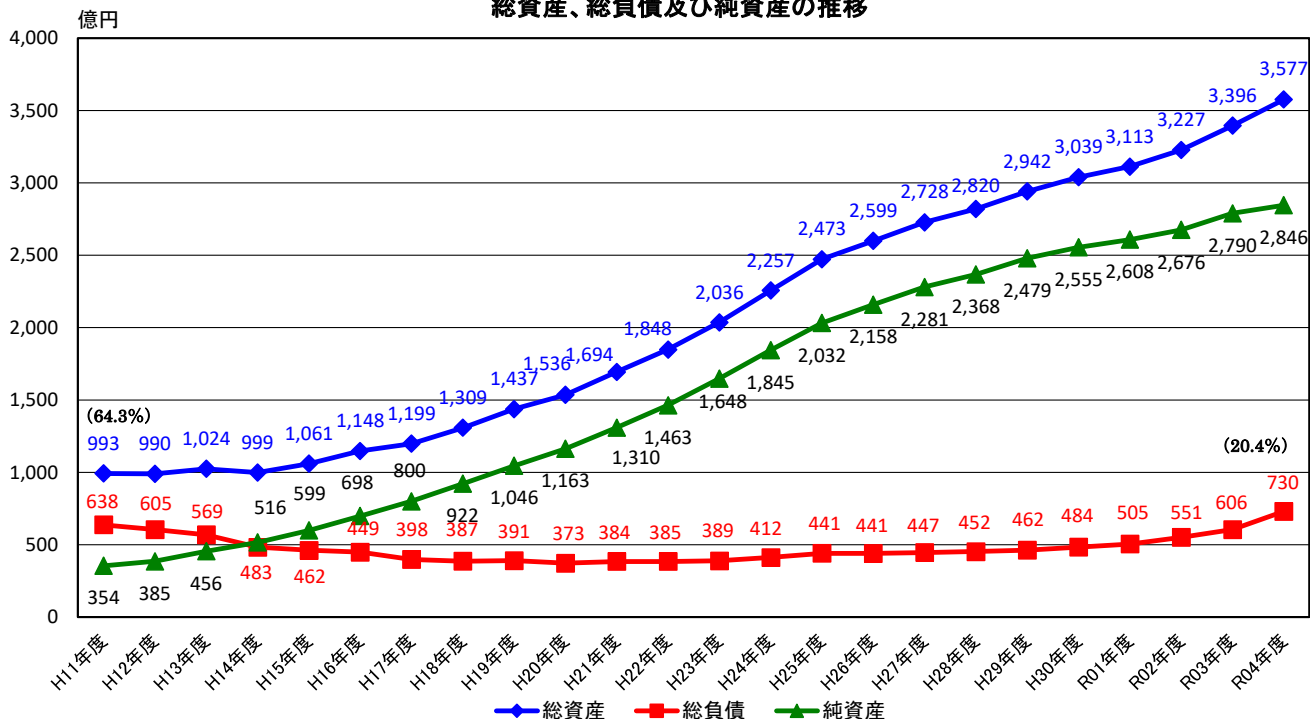
①平成 14 年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院 ②平成 17 年度 練馬病院開院 ③平成 18 年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工 ④平成 19 年度 スポーツロジックセンター設立 ⑤平成 22 年度 静岡県三島市に保健看護学部開設 ⑥平成 25 年度 順天堂医院 B 棟 I 期竣工 ⑦平成 27 年度 国際教養学部開設 ⑧平成 28 年度 順天堂医院 B 棟 II 期・C 棟竣工、さくらキャンパス新体操競技場・新女子寮竣工、高齢者医療センター増床 ⑨平成 29 年度 浦安病院 3 号館竣工 ⑩平成 30 年度 新研究棟 (7 号館) 竣工 ⑪令和元年度 保健医療学部開設、練馬病院 3 号館竣工 ⑫令和 2 年度 新研究棟 (7 号館 II 期) 竣工、さくらキャンパス新講義棟・新女子寮が竣工 ⑬令和 3 年度 浦安・日の出キャンパス I 期校舎 (医療科学部) 及び体育館竣工 ⑭令和 4 年度 医療科学部開設。

主な財務比率の推移



上記は財務比率の推移を示しています。平成 27 年度の学校法人会計基準改正に伴い、事業活動収支差額比率を除く各比率の分母を従来の帰属収入 (新基準の事業活動収入) から経常収入に変更しています。令和 4 年度は教研経費率が上昇していますが、光熱水費や減価償却費、施設改修に係る費用等が増加したことが主な要因です。

総資産、総負債及び純資産の推移

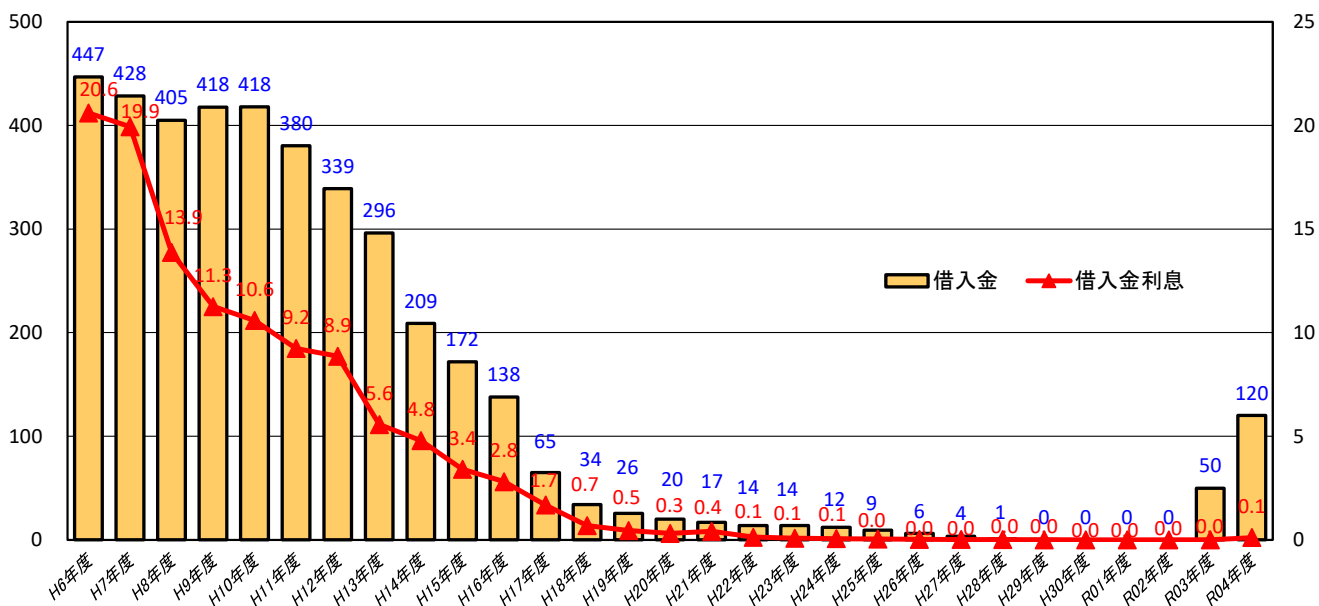


上記のグラフは総資産、総負債、純資産（平成 27 年度学校法人会計基準改正以降の呼称）の推移を示しています。平成 5 年に竣工した順天堂医院 1 号館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成 13 年度まで総負債が純資産を上回っていました。その後は堅調な事業活動収支差額（帰属収支差額）を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒しで行い、施設・設備の拡充を自己資金により行ってきました。これらの成果により総負債比率（総負債／総資産）は平成 11 年度の 64.3%から令和 4 年度には 20.4%と、大幅に改善しています。

借入金残高  
単位：億円

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

借入金利息  
単位：億円



総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。令和 4 年度は令和 3 年度に引き続き新学部設置に係る文部科学省の基準に合致させるため、金融機関から借入れを行いません。